



シングルナンバー リーチ

- [シングルナンバー リーチについて \(1 ページ\)](#)
- [シングルナンバー リーチの設定 \(5 ページ\)](#)
- [シングルナンバー リーチの機能情報 \(18 ページ\)](#)

シングルナンバー リーチについて

シングルナンバーリーチの概要

シングルナンバー リーチ (SNR) 機能では、ユーザがデスクトップ IP Phone または携帯電話などのリモート接続先で自分の内線への着信コールに応答できます。ユーザは接続を維持したまま、デスクトップ電話機またはリモート電話機のアクティブコールに応答できます。これによって、発信者は1つの番号でユーザに到達できます。応答されなかったコールはボイスメールに転送できます。

リモート接続先としては、次のようなデバイスがあります。

- 携帯 (セルラー) 電話。
- スマートフォン。
- デスクトップ電話機と同じ Cisco Unified CME ルータには属していない IP Phone。
- PSTN 上の自宅の電話番号。サポートされる PSTN インターフェイスには、PRI、BRI、SIP、および FXO があります。

SNR 内線番号への着信コールの場合、Cisco Unified CME は最初にデスクトップ IP Phone を呼び出します。設定された時間内に IP Phone が応答しない場合、IP Phone の呼び出しを続行しながら、設定されたリモート番号を呼び出します。応答されなかったコールは、設定されたボイスメール番号に送信されます。

IP Phone ユーザには、SNR 内線番号へのコールを処理するために、次のオプションが用意されています。

- リモート電話機からの通話を撤回：電話機ユーザーは、Resume ソフトキーを押すことによって、手動で SNR の内線に通話を撤回できます。これによって、リモート電話からの通話が切断されます。
- リモート電話機への通話の送信：電話機ユーザーは Mobility ソフトキーを使用して、リモート電話機に通話を送信できます。電話機ユーザーは、通話に接続しているときに、Mobility ソフトキーを押して、[通話を携帯電話に送信 (Send call to mobile)] を選択できます。通話はリモート電話機に転送されます。
- シングルナンバーリーチの有効化または無効化：IP Phone がアイドル状態の間、Mobility ソフトキーを使用すると、SNR 機能のオンとオフを切り替えることができます。ユーザが SNR を無効にしている場合、Cisco Unified CME はリモート番号を呼び出しません。

IP Phone ユーザは、電話機からサービス機能のボタンで使用できるメニューを使用して、自分の SNR 設定を直接変更できます。電話機ユーザがユーザ インターフェイスにアクセスできるように、電話機でこの機能を有効にしておく必要があります。

この機能は、ソフトキーがサポートされる SCCP IP 電話機の Cisco Unified Cisco Mobility Express 7.1 以降のバージョンでサポートされます。

SNR の機能強化

Cisco Unified CME 8.5 では、シングルナンバー リーチ (SNR) 機能で次の機能拡張がサポートされます。

ハードウェア会議

Cisco Unified CME 8.5 では、ハードウェア会議に参加した後、携帯電話にコールを送信できます。ハードウェア会議に参加すると、すべての電話会議がハードウェア DN にブラインド転送されます。ephone のコール文字が着信コールから発信コールに変化し、携帯電話にコールを送信できます。

通話パーク、コール ピックアップ、およびコール取得

以前のバージョンの Cisco Unified CME では、通話パーク、コール ピックアップ、およびコール取得の機能が SNR に対してサポートされませんでした。Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョンでは、SNR コールのパーク、ピックアップ、または取得が可能です。

Cisco Unified Cisco Mobility Express 8.5 では、SNR 機能が強化されており、発信者番号の代わりに携帯電話のローカル番号を表示できるようになっています。ephone-dn 構成モードで snr calling number local コマンドを構成して、SNR 電話機の発信者 ID を表示できます。発信者番号の構成については、「[SCCP 電話機のシングルナンバーリーチ拡張の構成 \(9 ページ\)](#)」を参照してください。

呼び出し開始タイマー

非 FXO ポートでは、snr answer too soon timer を設定して、携帯電話のボイス メールボックスへのコールのローリングを回避できます。携帯電話が非常に短いタイマーの範囲 (1 ~ 5 秒)

内での応答でボイスメールにローリングされる場合、携帯電話のコールレグがただちに接続解除されます。ephone-dn モードで snr answer too soon コマンドを設定できます。詳細については、[SCCP 電話機のシングルナンバーリーチ拡張の構成 \(9 ページ\)](#) を参照してください。answer-too soon timer は、携帯電話にコールを送信する場合には適用できません。

携帯電話で応答後の SNR 電話の呼び出し停止

SNR が非 FXO ポートで展開される場合、携帯電話で SNR コールに応答すると、コールに接続されます。ephone はそれ以降、呼び出しを停止し、保留中になります。ephone-dn コンフィギュレーションモードで snr ring-stop コマンドを設定して、ephone での呼び出しを停止し、保留中にすることができます。詳細については、[SCCP 電話機のシングルナンバーリーチ拡張の構成 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

Cisco Unified SIP IP Phone のシングルナンバー リーチ

Cisco Unified CME 9.0 よりも前のバージョンでは、ephone の通常のディレクトリ番号 (DN) と公衆電話交換網 (PSTN) 接続 (PRI/BRI/FXO ポートまたは SIP インターフェイスのいずれか) の 2 つの番号でユーザに到達にできるように、シングルナンバー リーチ (SNR) 機能が有効になっていました。ephone への着信コールの場合、Cisco Unified CME は最初に ephone DN を呼び出しました。設定された時間内に ephone DN が応答しなかった場合、Cisco Unified CME は ephone DN の呼び出しを継続しながら、事前設定された PSTN 番号を呼び出しました。

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、Cisco Unified SIP IP Phone に対して次の SNR 機能がサポートされます。

- Cisco Unified SIP IP phone で [エクステンションモビリティ (EM) (Extension Mobility (EM))] 機能を有効化・無効化 — 切替として、Mobility ソフトキーまたは PLK を使用するか、**mobility** および **no mobility** コマンドを使用して、Cisco Unified SIP IP Phone で Mobility 機能を有効化・無効化します。
- 携帯電話でのコールの手動回収：Resume ソフトキーを使用して、コールを SNR DN に手動で戻します。
- モバイル PSTN 電話機へのコール送信：Cisco Unified SIP IP Phone が通話中の場合に、Mobility ソフトキーを使用して、モバイル PSTN 電話機に通話を送信します。[携帯電話に通話を送信 (Send call to mobile)] を選択します。通話が携帯電話に引き継がれます。
- SNR 電話が発信側か着信側かに関係なく、携帯電話にコールを送信：SNR 電話が発信側か着信側かに関係なく、携帯電話にコールを送信するように、voice register dn または ephone-dn コンフィギュレーションモードで SNR 機能が設定されていることを確認します。Mobility ソフトキーを使用して、[携帯電話に通話を送信 (Send call to mobile)] を選択します。通話が携帯電話に引き継がれます。

PSTN、ローカル、または VoIP Phone から SNR 電話として設定された Cisco Unified SIP IP Phone へのコールの場合、Cisco Unified CME は SIP SNR または携帯電話の DN を呼び出します。

SIP SNR 電話でコールに応答した場合は、コールを PSTN/BRI/PRI/SIP 電話機に送信できます。

携帯電話で通話に応答した場合は、SIP SNR 電話機に Resume ソフトキーが表示され、SIP SNR 電話機に通話を戻すことができます。PSTN 電話機から SIP SNR 電話機へ、または SIP SNR 電話機から PSTN 電話機へ、コールを繰り返し回収できます。

cfwd-noan キーワードが構成され、携帯電話と SIP SNR 電話機の両方が応答しない場合、事前設定された遅延時間の終了に達すると、通話は事前設定された内線番号にリダイレクトされます。

次に、Cisco Unified SIP IP Phone で設定された SNR 電話が、携帯電話にコールを送信する場合に、Cisco Unified SCCP IP Phone で設定されたものとは異なる動作をする例を示します。

- Cisco Unified SCCP IP Phone の場合、通話が携帯電話に送信されると、SCCP SNR 電話機に Resume ソフトキーが表示されます。
- Cisco Unified SIP IP Phone の場合、携帯電話で通話に応答すると、SIP SNR 電話機に Resume ソフトキーが表示されます。



(注) Resume ソフトキーを押すと、通話が SNR 電話機に戻ります。

Cisco Unified Cisco Mobility Express 9.0 以降では、Cisco Unified SIP 7906、7911、7941、7942、7945、7961、7962、7965、7970、7971、7975、8961、9951、および 9971 IP Phone で SNR 機能がサポートされます。



(注) Unified Cisco Mobility Express の MyPhoneApps によるシングルナンバーリーチ (SNR) のサポートは、Cisco IP Phone 7800 および 8800 Series の SIP 電話で利用できます。

Cisco Unified SCCP IP Phone の仮想 SNR DN

仮想 SNR DN は、登録済みの電話機に関連付けられていない DN です。この DN にコールすると、事前設定された携帯電話に転送されるか、または携帯電話がコールに応答したか、遅延時間に達したときに自動保留状態になる可能性があります。自動保留状態の場合、DN が浮動または未登録となっている可能性があります。浮動 DN とは、どの電話機にも設定されていない DN で、未登録の DN とは、Cisco Unified CME システムに登録されていない電話機と関連付けられた DN です。

Cisco Unified CME 9.0 よりも前のバージョンでは、SNR DN がどの登録済み電話機とも関連付けられていない場合、SNR DN 機能が起動しませんでした。call-forward busy コマンドを使用して携帯電話に通話を転送できても、SNR DN を電話機に構成する必要があります。浮動 DN を割り当てたユーザは、電話機を浮動 DN に割り当てない限り、コールを転送できませんでした。

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、SNR DN 機能を起動するために、SNR DN を登録済み電話機に割り当てる必要がなくなりました。仮想 SNR DN にコールを発信でき、SNR DN がどの電話機にも関連付けられていない場合でも、SNR 機能を起動できます。事前設定さ

れた携帯電話が利用できない状態の場合、仮想 SNR DN へのコールを自動受付サービスに転送でき、ボイスメールボックスに割り当てられた電話機または内線番号を使用して、ボイスメールを取得できます。

仮想 SNR DN 機能は、登録済みの電話機に関連付けられていない SNR DN 用に設計されていますが、電話機の登録またはログインを完了した仮想 SNR DN、および関連付けられたすべての登録済み電話機が登録解除されると仮想になる、登録済み DN もサポートされます。

シングルナンバー リーチの設定

SCPP 電話機のシングルナンバーリーチの構成



制約事項

- 各 IP Phone は 1 つの SNR ディレクトリ番号だけをサポートします。
- SNR 機能は次に対してはサポートされません。
 - SCCP 制御のアナログ FXS 電話機
 - MLPP コール
 - 安全なコール
 - ビデオ コール
 - ハント グループのディレクトリ番号（音声または ephone）
 - MWI ディレクトリ番号
 - トランク ディレクトリ番号
- オーバーレイ セットでは、1 つの SNR ディレクトリ番号だけをサポートでき、そのディレクトリ番号をプライマリ ディレクトリ番号にする必要があります。
- **call-forward noan** コマンドで構成した無応答時転送（CFNA）は、SNR がディレクトリ番号で構成された場合は無効です。未応答通話を音声メールに転送するには、**snr** コマンドの **cfwd-noan** キーワードを使用します。
- **snr** コマンドの **cfwd-noan** キーワードを使用した未応答通話の通話転送は、通話が即時接続されるため、FXO トランクからの PSTN 通話に対してサポートされません。
- 内線番号からビジョーの内線番号への通話は、**no forward local-calls** がディレクトリ番号で構成されていても、SNR 接続先に転送されます。
- コールは常にプライベートに保たれます。リモート電話機でコールが応答された場合、デスクトップ IP Phone はコールを再開しない限り、そのコールを受信できません。
- SNR コールに対してサポートされるロケールは米国英語だけです。

始める前に

- Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョン
- Cisco IP Communicator ではバージョン 2.1.4 以降が必要

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag**
4. **number number**
5. **mobility**
6. **snr e164-number delay seconds timeout seconds [cfwd-noan extension-number]**
7. **snr calling-number local**
8. **exit**
9. **ephone-template template-tag**
10. **softkeys connected { [Acct] [ConfList] [Confrn] [Endcall] [Flash] [HLog] [Hold] [Join] [LiveRcd] [Mobility] [Park] [RmLstC] [Select] [TrnsfVM] [Transfer] }**
11. **softkeys idle { [Cfwdall] [ConfList] [Dnd] [Gpickup] [HLog] [Join] [Login] [Mobility] [Newcall] [Pickup] [Redial] [RmLstC] }**
12. **exit**
13. **ephone phone-tag**
14. **ephone-template template-tag**
15. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn dn-tag 例： Router(config)# ephone-dn 10	directory number コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	number number 例： Router(config-ephone-dn)# number 1001	内線番号をこのディレクトリ番号に関連付けます。 • <i>number</i> – 内線または E.164 電話番号を示す最大 16 桁の文字列。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	mobility 例： Router(config-ephone-dn)# mobility	ディレクトリ番号でモビリティ機能を有効にします。
ステップ 6	snr e164-number delay seconds timeout seconds [cfwd-noan extension-number] 例： Router(config-ephone-dn)# snr 4085550133 delay 5 timeout 15 cfwd-noan 2001	内線番号で SNR を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • e164-number — IP Phone 内線で応答がなかった場合に呼び出す E.164 電話番号。 • delay seconds — リモート電話機を呼び出す前に、通話が IP Phone を呼び出す秒数を設定します。範囲は 0 ～ 10 です。デフォルト：無効。 • timeout seconds — 構成された遅延の経過後に着信音が鳴る秒数を設定します。リモート電話機がコールに応答した場合でも、IP Phone でこの時間の長さだけ呼び出しが継続されます。範囲は 5 ～ 60 です。デフォルト：無効。 • cfwd-noan extension-number — (オプション) delay と timeout の両方の秒数が経過しても電話機が応答しなかった場合、通話をこの番号に転送します。これは通常、ボイスメール番号です。 (注) 通話が即時接続されるため、 cfwd-noan オプションは FXO トランクからの通話に対してはサポートされません。
ステップ 7	snr calling-number local 例： Router(config-ephone-dn)# snr calling-number local	(任意) 元の発信側の番号を、リモート電話機の発信者 ID の表示で、SNR 内線番号付きの元の発信側番号に置き換えます。 <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは Cisco Unified CME 8.0 以降のバージョンでサポートされます。
ステップ 8	exit 例： Router(config-ephone-dn)# exit	ephone-dn コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 9	ephone-template template-tag 例： Router(config)# ephone-template 1	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを開始して、ephone テンプレートを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> • template-tag — 作成される ephone テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ～ 20 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 10	softkeys connected { [Acct] [ConfList] [Confrn] [Endcall] [Flash] [HLog] [Hold] [Join] [LiveRcd] [Mobility] [Park] [RmLstC] [Select] [TrnsfVM] [Trnsfer] } 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys connected endcall hold livercd mobility</pre>	通話が接続状態の場合に IP Phone で表示されるソフトキーの順番と種類を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続中通話状態で Mobility ソフトキーを押すと、通話がステップ 6 で定義した PSTN 番号に転送されます。
ステップ 11	softkeys idle { [Cfwdall] [ConfList] [Dnd] [Gpickup] [HLog] [Join] [Login] [Mobility] [Newcall] [Pickup] [Redial] [RmLstC] } 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys idle dnd gpickup pickup mobility</pre>	アイドル通話状態に IP Phone で表示されるソフトキーの順番とタイプを修正します。 <ul style="list-style-type: none"> • アイドル通話状態で Mobility ソフトキーを押すと、SNR 機能が有効になります。このキーはトグル動作となり、2 回めに押すと、SNR 機能が無効になります。
ステップ 12	exit 例： <pre>Router(config-ephone-template)# exit</pre>	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 13	ephone phone-tag 例： <pre>Router(config)# ephone 21</pre>	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>phone-tag</i>— 構成タスク中にこの ephone を識別する一意の番号。
ステップ 14	ephone-template template-tag 例： <pre>Router(config-ephone)# ephone-template 1</pre>	ephone テンプレートを電話機に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>template-tag</i> — 手順 12 で作成した ephone テンプレートの固有識別子。
ステップ 15	end 例： <pre>Router(config-ephone-template)# end</pre>	設定モードを終了します。

例

次に、IP Phone 21 で内線番号 1001 が SNR に対して有効になる例を示します。コールがこの番号を 5 秒間を呼び出した後、リモート番号 4085550133 も呼び出します。このコールは両方の電話機を 15 秒間、呼び出し続けます。合計 20 秒間コールに応答がなかった場合、コールの呼び出しが終了し、ボイスメール番号 2001 に転送されます。

```
ephone-template 1
softkeys idle Dnd Gpickup Pickup Mobility
softkeys connected Endcall Hold LiveRcd Mobility
```

```
!  
ephone-dn 10  
  number 1001  
  mobility  
  snr 4085550133 delay 5 timeout 15 cfwd-noan 2001  
  snr calling-number local  
!  
!  
ephone 21  
  mac-address 02EA.EAEA.0001  
  ephone-template 1  
  button 1:10
```

SCCP 電話機のシングルナンバーリーチ拡張の構成



制約事項

- ソフトウェア会議：ソフトウェア会議が開始され、`ephone` でコミットされると、携帯電話へのコールの送信はできなくなります。ソフトウェア会議がコミットされた後は、モビリティのみを有効または無効にできます。
- FXO ポートでの SNR コールピックアップ：FXO ポートを介して PSTN にルーティングされる通話の場合、この通話は FXO ポートでアウトバウンドと認識されるとすぐに「接続済み」とシグナリングされます。FXO が接続状態になるとすぐに、携帯電話が FXO インターフェイスに表示され、コール（セッション）が通話中状態になります。`ephone` は呼び出し中状態になりますが、`ephone` コールには応答できません。
- SNR コールが外線側から発信される場合、保留音（MOH）はサポートされません。SNR コールがトランク側から発信される場合、このコールで MOH がサポートされます。

始める前に

Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn *dn-tag***
4. **number *number* [*secondary number*] [*no-reg* [*both* | *primary*]]**
5. **mobility**
6. **snr calling number local**
7. **snr answer too soon *time***
8. **snr ring-stop**
9. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn dn-tag 例： Router(config)# ephone-dn 10	directory number コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	number number [secondary number] [no-reg [both primary]] 例： Router(config-ephone-dn)# number 1001	内線番号をこのディレクトリ番号に関連付けます。 • <i>number</i> — 内線または E.164 電話番号を示す最大 16 桁の文字列。
ステップ 5	mobility 例： Router(config-ephone-dn)# mobility	ディレクトリ番号でモビリティ機能を有効にします。
ステップ 6	snr calling number local 例： Router(config-ephone-dn)#snr calling-number local	SNR 携帯電話で発信者番号としてローカル番号を表示します。
ステップ 7	snr answer too soon time 例： Router(config-ephone-dn)#snr answer-too-soon 4	SNR 携帯電話でコールに応答するためのタイマーを有効にします。 • <i>time</i> — 秒単位の時間。範囲は 1 ~ 5 です。
ステップ 8	snr ring-stop 例： Router(config-ephone-dn)#snr ring-stop	SNR コールが携帯電話で応答された後、IP Phone の呼び出しを停止できます。
ステップ 9	exit 例： Router(config-ephone-dn)# exit	ephone-dn コンフィギュレーションモードを終了します。

例

次の例では、ephone-dn 10 で設定される SNR 機能拡張を示します。

```
Router#show running config
!
!
telephony-service
  sdspfarm units 1
  sdspfarm tag 1 confprof1
  conference hardware
  max-ephones 262
  max-dn 720
  ip source-address 172.19.153.114 port 2000
  service phone thumbButton PTH6
  load 7906 SCCP11.8-5-3S.loads
  load 7911 SCCP11.8-5-3S.loads
!
ephone-template 6
  feature-button 1 Hold
!
!
ephone-dn 10
  mobility
snr calling-number local
snr ring-stop
snr answer-too-soon 4
```

SIP 電話機のシングルナンバーリーチの構成



制約事項

- Cisco Unified SIP IP Phone のハードウェア会議とプライバシー保留はサポートされません。
- Cisco Unified SIP と SCCP IP Phone の混在する共有回線はサポートされません。
- SIP 共有回線の登録モードと通知モードはサポートされません。
- H323 IP トランクからの着信コールはサポートされません。
- SIP-SIP トランク コールに対するメディアフローアラウンドはサポートされません。
- ソフトウェア会議がコミットされた後は Cisco Unified SIP IP Phone が保留になるため、ソフトウェア会議を開始した SIP SNR 電話機は携帯電話とのコールの送受信ができません。

始める前に

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template *template-tag***

4. **softkeys idle** { [Cfwdall] [DND] [Gpickup] [Newcall] [Pickup] [Redial] }
5. **softkeys connected** { [Confrn] [Endcall] [Hold] [Park] [Trnsfer] [iDivert] }
6. **exit**
7. **voice register pool** *pool-tag*
8. **session-transport** { tcp }
9. **exit**
10. **voice register dn** *dn-tag*
11. **number** *number*
12. **name** *name*
13. **mobility**
14. **snr calling-number local**
15. **snr e164-number delay seconds timeout seconds** [cfwd-noan *extension-number*]
16. **snr ring-stop**
17. **snr answer-too-soon** *time*
18. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register template <i>template-tag</i> 例： Router(config)# voice register template 1	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを開始します。 • <i>template-tag</i> —作成するテンプレートの識別子。範囲は 1 ~ 10 です。
ステップ 4	softkeys idle { [Cfwdall] [DND] [Gpickup] [Newcall] [Pickup] [Redial] } 例： Router(config-register-temp)# softkeys idle Redial Cfwdall	通話がアイドル状態のときに、Cisco Unified SIP IP Phone のソフトキーのディスプレイを変更します。 • Cfwdall — (オプション) 「不在転送」のソフトキー。すべての通話を転送します。 • DND — (オプション) [サイレント (Do-Not-Disturb)] 機能を有効にするソフトキー。 • Gpickup — (オプション) 別の電話機で呼び出されている通話にユーザーが応答することを許可するソフトキー。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • Newcall — (オプション) スピーカーフォンの回線を開き、新しい通話を発信するソフトキー。 • Pickup — (オプション) 同じピックアップグループのメンバーである別の電話機で呼び出されている通話をユーザーが応答できるようにするソフトキー。 • Redial — (オプション) 最後にダイヤルした番号をリダイヤルするソフトキー。
<p>ステップ 5</p>	<p>softkeys connected { [Confrn] [Endcall] [Hold] [Park] [Trnsfer] [iDivert] }</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-temp)# softkeys connected Confrn Hold Endcall</pre>	<p>通話が接続状態のときに、Cisco Unified SIP IP Phone のソフトキーディスプレイを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Confrn — (オプション) 発信者を電話会議に接続するソフトキー。 • Endcall — (オプション) 現在の通話を終了するソフトキー。 • Hold — (オプション) 進行中の通話を保留にし、通話を再開するソフトキー。 • Park — (オプション) 進行中の通話を保留西、システムの別の電話機で着信できるようにするソフトキー。 • Trnsfer — (オプション) 進行中の通話を別の内線番号に転送するソフトキー。 • iDivert — (オプション) 通話を音声メッセージシステムに即時転送するソフトキー。
<p>ステップ 6</p>	<p>exit</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-temp)# exit</pre>	<p>音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
<p>ステップ 7</p>	<p>voice register pool <i>pool-tag</i></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# voice register pool 10</pre>	<p>音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • pool-tag — プールに割り当てられた固有番号。範囲は 1 ~ 100 です。 <p>(注) Cisco Unified Cisco Mobility Express システムの場合、max-pool コマンドが引数の上限を定義します。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	session-transport {tcp} 例： <pre>Router(config-register-pool)# session-transport tcp</pre>	Cisco Unified SIP IP Phone が Cisco Unified CME への接続に使用するトランスポート層プロトコルを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • tcp—Transmission Control Protocol (TCP) を使用します。
ステップ 9	exit 例： <pre>Router(config-register-pool)# exit</pre>	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 10	voice register dn dn-tag 例： <pre>Router(config)# voice register dn 3</pre>	voice register dn コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • dn-tag—構成タスク中に特定のディレクトリ番号を識別する一意のシーケンス番号。範囲は 1 ~ 150 または、max-dn コマンドが定義する最大値です。
ステップ 11	number number 例： <pre>Router(config-register-dn)# number 1004</pre>	電話機または内線番号を Cisco Unified CME システム内の Cisco Unified SIP IP Phone に関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> • number—E.164 電話番号を示す最大 16 文字の文字列。通常、この文字列は数字で構成されますが、この番号がルータだけでインターコム番号と同様にダイヤルされる場合、文字列にアルファベット文字が含まれる場合があります。
ステップ 12	name name 例： <pre>Router(config-register-dn)# name John Smith</pre>	名前を Cisco Unified CME のディレクトリ番号に関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> • name—指定された内線番号に関連付けられた人の名前。名前は、directory (telephony-service) コマンドまたは first-name-first または last-name-first のいずれかで指定された順序に従う必要があります。
ステップ 13	mobility 例： <pre>Router(config-register-dn)# mobility</pre>	Cisco Unified SIP IP Phone の内線に対してモビリティ機能を有効にします。
ステップ 14	snr calling-number local 例： <pre>Router(config-register-dn)# snr calling-number local</pre>	設定された携帯電話に表示される発信者番号をローカル SNR 番号に置換します。

	コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ 15</p>	<p>snr e164-number delay seconds timeout seconds [cfwd-noan extension-number]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-dn)# snr 9900 delay 1 timeout 10</pre>	<p>Cisco Unified SIP IP Phone の内線に対して SNR 機能を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • e164-number — Cisco Unified SIP IP Phone 内線が応答しなかった場合に呼び出す E.164 電話番号。 • delay seconds 呼び出された際に、Cisco Unified SIP IP Phone の呼出音が鳴る秒数を設定します。遅延時間に達すると、通話は PSTN 電話および SNR ディレクトリ番号に転送されます。範囲：0～30。デフォルトは 5 です。 • timeout seconds — 構成された遅延時間の経過後に Cisco Unified SIP IP Phone の呼出音が鳴る秒数を設定します。タイムアウト値に達すると、電話機にコールが表示されなくなります。通話を撤回するには、Resume ソフトキーを押し、通話を携帯電話に送信するには、Mobility ソフトキーを押します。範囲：30～60。デフォルトは 60 です。 <p>(注) デフォルトが有効の場合、Cisco Unified SIP IP Phone はリモート電話がコールに応答した場合でも、60 秒間呼び出しを継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cfwd-noan extension-number — (オプション) delay と timeout の両方の値に達しても電話機が応答しない場合、通話をこの内線番号に転送します。内線番号は通常、ボイスメール番号です。 <p>(注) コールがただちに接続されるため、このオプションは FXO トランクからのコールに対してはサポートされません。</p>
<p>ステップ 16</p>	<p>snr ring-stop</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-dn)# snr ring-stop</pre>	<p>設定された携帯電話で SNR コールが応答された後、Cisco Unified SIP IP Phone の呼び出しが終了します。</p>
<p>ステップ 17</p>	<p>snr answer-too-soon time</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-register-dn)# snr answer-too-soon 2</pre>	<p>SNR コールが携帯電話のボイス メールボックスに転送されることを防止する時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • time — 秒単位の時間。範囲：1～5。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 18	end 例 : Router(config-register-dn) # end	voice register dn コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

SCCP 電話機での仮想 SNR DN の構成



制約事項

- 仮想 SNR DN は Cisco Unified SCCP IP Phone の DN だけをサポートします。
- 仮想 SNR DN はコール中のサポートを提供しません。
コール中とは次のいずれかです。
 - DN が登録済みの電話機に関連付けられる前に到達し、DN が電話機に関連付けられた後にも存在しているコール。
 - 状態が登録済みから仮想に変化し、登録済みに戻った登録済み DN に到達したコール。
- 通話中のコールは、DN に関連付けられた電話機から回収、応答、または終了することができません。
- 仮想 DN の状態は、呼び出しから保留に移行するか、登録済み DN として保留中のままになります。

始める前に

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag**
4. **number number**
5. **mobility**
6. **snr mode [virtual]**
7. **snr e164-number delay seconds timeout seconds [cfwd-noan extension-number]**
8. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>enable</p> <p>例 :</p> <pre>Router> enable</pre>	<p>特権 EXEC モードを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<p>configure terminal</p> <p>例 :</p> <pre>Router# configure terminal</pre>	<p>グローバル構成モードを開始します。</p>
ステップ 3	<p>ephone-dn dn-tag</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# ephone-dn 10</pre>	<p>ephone-dn コンフィギュレーションモードを開始し、IP Phone 回線のディレクトリ番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • dn-tag— 構成タスク中にこの ephone-dn を識別する一意の番号。範囲は、1 ~ max-dn コマンドで定義された数値までです。
ステップ 4	<p>number number</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# number 1001</pre>	<p>電話番号または内線番号をこの ephone-dn に関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number E.164 電話番号を示す最大 16 文字の文字列。通常、この文字列は数字で構成されますが、この番号がルータだけでインターコム番号と同様にダイヤルされる場合、文字列にアルファベット文字が含まれる場合があります。
ステップ 5	<p>mobility</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# mobility</pre>	<p>Cisco Unified SCCP IP Phone の内線に対してモビリティ機能を有効にします。</p>
ステップ 6	<p>snr mode [virtual]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# snr mode virtual</pre>	<p>SNR ディレクトリ番号のモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • virtual— 未登録または浮動の場合、SNR DN に対して仮想モードを有効にします。
ステップ 7	<p>snr e164-number delay seconds timeout seconds [cfwd-noan extension-number]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# snr 408550133 delay 5 timeout 15 cfwd-noan 2001</pre>	<p>Cisco Unified SCCP IP Phone の内線に対してシングルナンバー リーチ機能を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • e164-number— IP Phone 内線で応答がなかった場合に呼び出す E.164 電話番号。 • delay seconds— リモート電話機を呼び出す前に、通話が IP Phone を呼び出す秒数を設定します。範囲 : 0 ~ 10。デフォルト : 無効。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • timeout seconds — 構成された遅延の経過後に着信音が鳴る秒数を設定します。リモート電話機がコールに応答した場合でも、IP Phone でこの時間の長さだけ呼び出しが継続されます。範囲：5 ～ 60。デフォルト：無効。 • cfwd-noan extension-number — (オプション) 遅延とタイムアウトの両方の秒数が経過しても電話機が応答しなかった場合、通話をこの番号に転送します。これは通常、ボイスメール番号です。
ステップ 8	end 例： <pre>Router(config-ephone-dn)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

シングルナンバー リーチの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリース だけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: シングルナンバー リーチの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	変更内容
Cisco Unified SIP IP Phone のシングルナンバー リーチ	9.0	<p>Cisco Unified SIP IP Phone の次の SNR 機能がサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EM 機能を有効または無効にします。 • 携帯電話でのコールを手動で回収します。 • モバイル PSTN 電話にコールを発信します。 • SNR 電話機が発信側であるか着信側であるかに関係なく、携帯電話にコールを発信します。
Cisco Unified SCCP IP Phone の仮想 SNR DN		<p>仮想 SNR DN にコールを発信でき、SNR DN がどの電話機にも関連付けられていない場合でも、SNR 機能を起動できます。</p>
SNR の機能強化	8.5	<p>次の SNR 機能強化のサポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ハードウェア会議 • 通話パーク、コールピックアップアップ、およびコール取得 • 呼び出し開始タイマー • 携帯電話で応答後の SNR 電話の呼び出し停止
発信者番号ローカル	8.0	<p>発信者 ID 表示で発信者番号を SNR 内線番号に置換する snr calling-number local コマンドが追加されました。</p>
シングルナンバー リーチ	7.1	<p>SNR 機能が導入されました。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。